

平成29年度「みやぎ農業見聞のつどい・秋」開催要領

1 目的

農業を魅力ある産業として再構築していくためには、地域における青年農業者の確保育成が喫緊の課題となっています。また、担い手の確保にあたっては、農家子弟だけでなく、非農家出身の方や、他産業への従事による豊富な経験や知識を持つ方など、幅広くやる気のある優秀な人材確保も重要となっています。

そのため、公益社団法人みやぎ農業振興公社では、他産業に就業しながら新規就農を希望している方などを対象に、「みやぎ農業見聞のつどい」を開催し、宮城県の農業・農村への理解を深めていただくことを目的としています。

2 主催 公益社団法人みやぎ農業振興公社

3 共催 宮城県、一般社団法人宮城県農業会議、宮城県農業協同組合中央会

4 開催日及び集合場所

開催日時：平成29年10月28日（土）午前8時50分～午後4時20分

（受付時間：午前8時40分～午前8時50分）

集合場所：JR仙台駅東口2階ペDESTリアンデッキ広場

（雨天決行）雨具については、各自、ご準備願います。
なお、気象条件等により、中止となる場合があります。

5 研修場所 宮城県巨理郡山元町および仙台市太白区

6 内容 3名の先輩農業者を訪問し、ほ場等を見学しながら意見交換を行います。また、昼食時にも深沼氏と内藤氏からお話を伺う予定です。

①山元町：（株）燦燦園 深沼 陽一 氏…いちごの直売等で農園を営んでいたが、震災以降、町の活性化を考えて、法人化し、仲間とともに新たな道を歩んでいる。

②山元町：内藤 靖人 氏…震災後、山元町でボランティアを行っていたが、復興のためには、山元町に住んで発信することが必要と考え、移住・独立就農した。試行錯誤しながら、露地野菜栽培に取り組んでいる。

③仙台市太白区：庄子 さおり 氏…宮城県指導農業士。少量多品目（年間約100種）の野菜を栽培し、自販機での直売等を行っている。農業体験の受け入れで農業を始めたい人を応援。

7 参加申込及び参加経費等

①募集定員・・・20名

※応募者多数の場合は、抽選とし、45歳未満を優先とさせていただきます。

②参加申込締切・・・平成29年10月13日（金）

③申込方法・・・別紙参加申込用紙に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAX等で申し込み下さい。

④申込先・・・〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
公益社団法人 みやぎ農業振興公社
電話：022-275-9192 FAX：022-275-9195

⑤参加経費・・・参加者一人1,500円（バス代・保険料・昼食代等含む）
※集合場所までの交通費は自己負担となります。

⑥保険の加入・・・別紙行程表分について「国内旅行傷害保険（東京海上日動火災保険会社扱い）」に全員加入します。

平成29年度「みやぎ農業見聞のつどい・秋」行程表

とき：平成29年10月28日（土）

時 間		内 容
8:40～ 8:50 9:00	受付開始 集 合 出 発	JR仙台駅東口2階ペディストリアンデッキ広場 あいさつ（行程の説明等） 一般道～仙台長町I.Cより山元I.C～一般道 （仙台南部・東部道路・常磐自動車道利用）
10:00 11:00	現地研修 出発・移動	【視察先①】 巨理郡山元町山寺字稲生18番地 株式会社 燦燦園 深沼 陽一 氏 いちごの生産および販売
11:10 11:40	現地研修 出発・移動	【視察先②】 巨理郡山元町 内藤 靖人 氏 ニンニク、かぼちゃ、マコモダケ等
12:00 12:40 13:40	昼 食 意見交換・交流会 出発・移動	農家レストラン 旬菜館 巨理郡巨理町逢隈十文字字佐渡276 TEL0223-34-6287 視察先①②の先輩農業者と意見交換
13:50 14:10	見 学 出発・移動	巨理町 おおくまふれあいセンター 巨理郡巨理町逢隈字郡99 TEL0223-34-9687 一般道～巨理I.Cより山田I.C～一般道 （常磐自動車道・仙台東部・南部道路利用）
14:50 15:50	現地研修 出発・移動	【視察先③】 仙台市太白区 庄子 さおり 氏 露地、施設野菜
16:15 16:20	到 着 解 散	車中にて閉会あいさつ（アンケート記入・回収） JR仙台駅東口「貸切・送迎バスプール」